

インストールガイド

AXIS M7001 ビデオエンコーダ

AXIS M7001 インストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS M7001 ビデオエンコーダ（以下、ビデオエンコーダ）をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。ビデオエンコーダの設定などに関する説明については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ（www.axiscom.co.jp）からご覧いただけます。

重要！

本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

インストール手順

1. パッケージの内容物を確認します。
2. ビデオエンコーダの各部の名称について確認します（3 ページ）。
3. ビデオエンコーダを設置します（4 ページ）。
4. IP アドレスを設定します（5 ページ）。
5. パスワードを設定します（8 ページ）。

① パッケージの内容

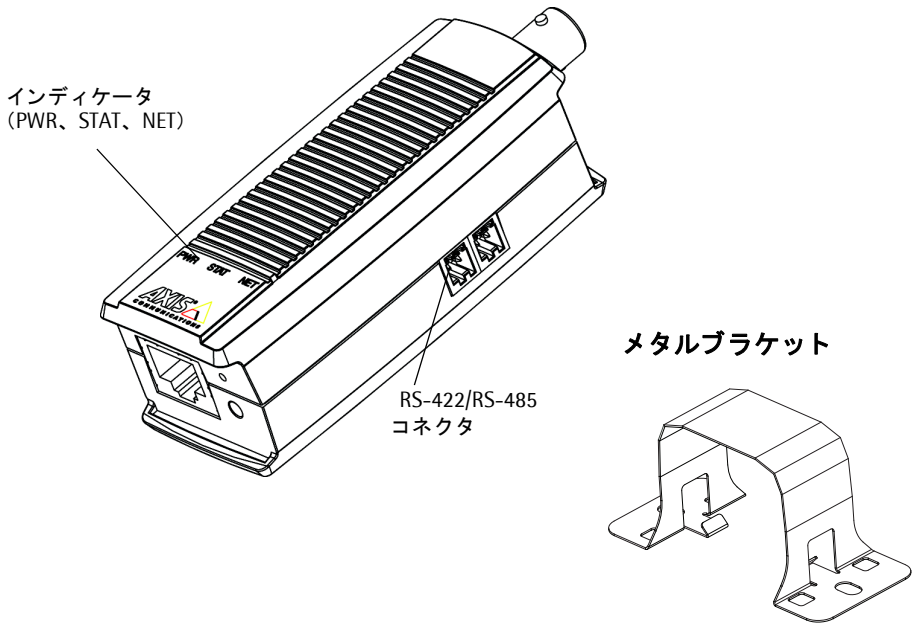
名称	備考
AXIS M7001	ビデオエンコーダ本体
マウンティングキット	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁取付用メタルブラケット ● 壁設置用ネジ（2つ）、プラスチックプラグ（2つ） ● I/O ターミナルコネクタ（RS-485/422：2ピン×2つ）
AXIS Network Video CD v1.4J 以降	ユーザーズマニュアルを PDF 形式で収録
インストールガイド	本書
保証書	

AXIS M7001 COVERT SURVEILLANCE KIT をご購入の場合は、以下の同梱物が追加されます。

名称	備考
コバートカメラ	アナログ小型カメラ
マウンティングキット	<ul style="list-style-type: none"> ● 壁取付用メタルブラケット ● 壁設置用ネジ（2つ）、プラスチックプラグ（2つ）

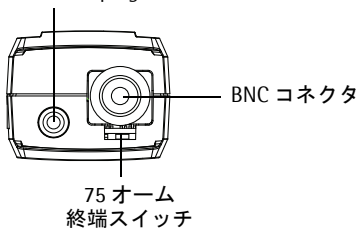
詳しくは、12 ページ「コバート（小型）カメラ」を参照してください。

② ハードウェアの概要



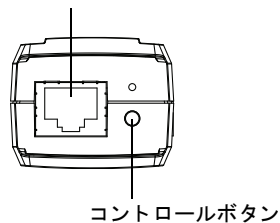
前面

2.5mm Tele plug コネクタ



背面

ネットワークコネクタ (PoE 対応、Class 2)



寸法

高さ : 30mm、幅 : 37mm、奥行き : 101mm
重量 : 82g

③ ビデオエンコーダの設置

重要！

AXIS M7001 は屋内専用のビデオエンコーダです。

ビデオエンコーダを壁や天井に取り付ける場合

ビデオエンコーダには壁や天井に設置するための取り付けキットが付属しています。ビデオエンコーダを壁や天井に設置するには、以下の手順にしたがってください。

1. 付属のネジおよびプラスチックプラグが、ビデオエンコーダを取り付ける壁または天井に適しているか確認してください。
2. ビデオエンコーダをブラケットに取り付けます。
3. ブラケットに取り付けたビデオエンコーダを壁にあてて、ブラケットの 2 箇所のネジ穴の位置に印を付けます
4. ネジ穴の印を付けた場所に穴を開けます。
5. 穴を開けたところにプラスチックプラグを差し込みます。壁に開けた穴と合うようにブラケットに取り付けたビデオエンコーダを壁にあてて、ネジを利用して壁に固定してください。

ケーブルを接続する



AXIS Q7001 は PoE (Power over Ethernet) に対応しています。PoE 対応のスイッチやハブに接続して、AXIS Q7001 に電力を供給するようにしてください。

1. シールド付きネットワークケーブルを利用して、ビデオエンコーダをネットワークに接続します。
2. お持ちのアナログカメラをビデオエンコーダの BNC コネクタに接続します。また、AXIS M7001 COVERT SURVEILLANCE KIT に付属のコバート (小型) カメラの場合は、2.5mm Tele plug コネクタに接続します。
3. インディケータの状態を確認してください。インディケータの詳細については、11 ページを参照してください。

4 IP アドレスの設定

ネットワーク上でビデオエンコーダにアクセスできるようにするには、まず IP アドレスを設定する必要があります。

Windows 環境では、**AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** をご使用ください。これらは無償のソフトウェアで、製品に付属の CD に収録されています。また、Axis のホームページからダウンロードしてご利用いただけます。

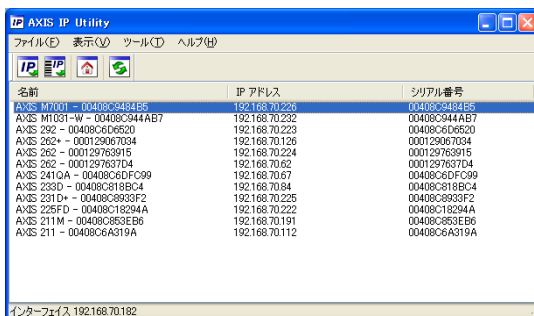
		推奨システム	オペレーティングシステム
	AXIS IP Utility 5 ページを参照	少数のビデオエンコーダのインストールに適しています。	Windows XP Windows Vista Windows Server 2003
	AXIS Camera Management 6 ページを参照	多数のビデオエンコーダのインストール、および異なるサブネット上のカメラのインストールに適しています。	

- 注意：**
- DHCP サーバによる IP アドレスの自動割り当てを行うこともできます。この場合は、DHCP サーバ側の管理ページにアクセスしてビデオエンコーダに設定された IP アドレスを確認してください。詳しくは、DHC サーバに付属のマニュアルを参照してください。また、ネットワーク管理者に相談するようにしてください。
 - ビデオエンコーダのデフォルトの IP アドレスは、192.168.0.90 に設定されています。
 - IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
 - IP アドレスの他の設定方法については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

AXIS IP Utility を利用する

(1 台のカメラ / 小規模インストール向き)

AXIS IP Utility は、ローカルネットワーク上のビデオエンコーダを検出して一覧に表示する Windows 専用ユーティリティソフトウェアです。AXIS IP Utility を利用して手動で固定の IP アドレスを設定したり、ビデオエンコーダの内部 Web ページにアクセスすることができます。




AXIS M7001 は、AXIS IP Utility が動作しているコンピュータと同じネットワークセグメント（物理サブネット）にインストールする必要があります。

AXIS IP Utility の自動検出機能を使ってアクセスする場合

1. AXIS M7001 がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。一覧から設定を行うビデオエンコーダを選択し、ダブルクリックします。ここで右クリックしてショートカットメニューから [IP アドレスを設定する] を選択すると、固定の IP アドレスを設定することもできます。
3. 8 ページを参照して、管理者用のパスワードを設定してください。

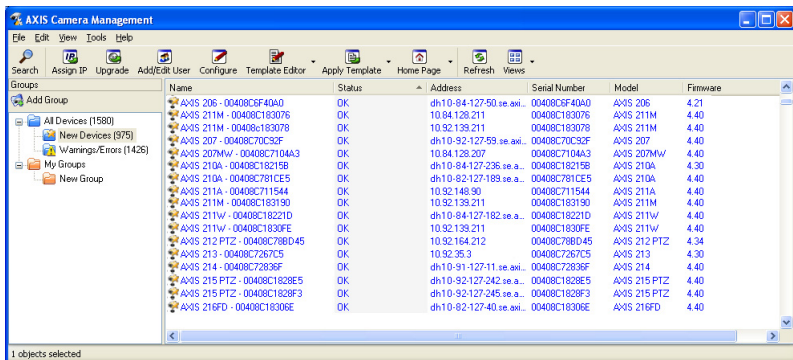
AXIS IP Utility を使って手動で IP アドレスを割り当てる場合

1. ビデオエンコーダに設定する未使用の IP アドレスをネットワーク管理者から入手します。
2. AXIS M7001 がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
3. AXIS IP Utility のツールボタンから  をクリックするか、[ツール] メニューから [シリアル番号を利用して IP アドレスを設定する] を選択します。ビデオエンコーダのシリアル番号と設定する IP アドレスをそれぞれ入力します。
4. [IP を設定] をクリックし、画面の指示にしたがってネットワークケーブルを抜き差ししてビデオエンコーダを再起動してください。
5. IP アドレスが正しく設定されると、メッセージが表示されます。[OK] をクリックしてメッセージを閉じます。
6. AXIS IP Utility の [ホームページ] をクリックすると、ビデオエンコーダの内部 Web ページにアクセスします。
7. 8 ページを参照して、管理者用のパスワードを設定してください。

AXIS Camera Management

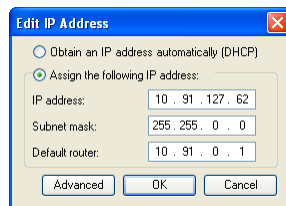
(複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

AXIS Camera Management はネットワーク上の Axis ネットワークビデオ製品を自動的に検出し、IP アドレスの設定、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレードなどを複数台のデバイスに対して行うことができるソフトウェアです。



IP アドレスを設定する

1. AXIS M7001 がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。一覧から設定を行うビデオエンコーダを選択し、[Assign IP] ボタンをクリックします。
3. [Assign the following IP address] オプションの各欄に、ビデオエンコーダに設定する IP アドレス (IP address)、サブネットマスク (Subnet mask)、デフォルトルータ (Default router) の値を入力します。
4. [OK] をクリックします。
5. 結果が [Result] ウィンドウに表示されます。ステータス (Status) が OK と表示されていれば、IP アドレスの設定が完了しています。[Close] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。
6. IP アドレスの設定が完了したビデオエンコーダを右クリックし、[Live View Homepage] をクリックします。
7. 8 ページを参照して、管理者用のパスワードを設定してください。

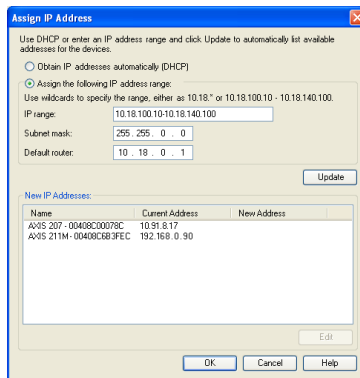


複数台のデバイスの IP アドレスを設定する

AXIS Camera Management を利用すると、特定の IP アドレスの範囲を指定してその中から利用可能な IP アドレスを複数台のデバイスに割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. IP アドレスを設定する複数のデバイス（異なるモデル同士でも可）を Shift キーを使って一覧から選択し、[Assign IP] ボタンをクリックします。
2. デバイスが使用する利用可能な IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルータを入力します。
3. [Update] ボタンをクリックすると、AXIS Camera Management は指定した IP アドレスの範囲内から利用可能な IP アドレスを自動的に検出します。検出された IP アドレスをそのまま設定する場合は、[OK] をクリックします。編集する場合は、[Edit] をクリックします。

注意： AXIS Camera Management の使用方法についての詳細は、[Help] - [AXIS Camera Management Help] をご覧ください。



5 パスワードの設定

製品にアクセスするには、まず管理者（root）用のパスワードを設定する必要があります。パスワードの設定は、ビデオエンコーダに初めてアクセスした際に表示される設定画面で行うことができます。

- 注意：**
- デフォルトの管理者ユーザ（root）は削除することはできません。
 - パスワードを忘れてしまった場合は、ビデオエンコーダを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。詳しくは、11 ページ「工場出荷時のデフォルト設定にリセットする」を参照してください。

管理者用パスワードの設定を安全に行うために、HTTPS を利用することもできます。HTTPS を利用する場合は、次の「HTTPS 接続を利用してパスワードを設定する」を参照してください。

- ビデオエンコーダの内部Webページに初めてアクセスすると、パスワードの設定画面が表示されます。
- [Password] フィールドにパスワードを入力します。確認のため、[Confirm password] フィールドに同じパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- ビデオエンコーダへのログオン画面が表示されます。ユーザ名に **root** と入力します。
- 手順 2 で設定したパスワードを入力して [OK] をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合は、ビデオエンコーダを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。
- AMC (AXIS Media Control) をインストールする画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてインストールを行ってください。AMC のインストールを実行するには、インストールするコンピュータに管理者権限を持つユーザでログオンしている必要があります。
- ビデオエンコーダの [Live View] ページが表示されます。

HTTPS 接続を利用してパスワードを設定する

記の手順にしたがって、HTTPS 接続を利用したパスワードの設定を行ってください。

注意： HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) はブラウザとサーバ間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

- [Create self-signed certificate] ボタンをクリックします。
- 自己署名証明書の作成画面が表示されます。必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書の作成状況を示すウィンドウが表示されます。
- 証明書の作成が終了した後は、ブラウザのメッセージにしたがって HTTPS 証明書をインストールしてください。
- Web ブラウザを再起動してから、HTTPS でビデオエンコーダにアクセスします (https:// ビデオエンコーダの IP アドレスまたはホスト名 / という書式でアドレスを入力します)。この時点で、ビデオエンコーダとのトラフィックの暗号化が開始されます。

- パスワードの設定画面が表示されます。[Password] フィールドにパスワードを入力します。確認のため、[Confirm Password] フィールドに同じパスワードを入力して [OK] をクリックします。

The image shows three overlapping screenshots of the Axis M7001 configuration web interface:

- Top Left:** "Create Certificate" screen. It has a button labeled "Create self-signed certificate...". An arrow points to this button with the text: "このボタンをクリックして HTTPS 証明書を作成します。"
- Top Right:** "Create Self-Signed Certificate" dialog box. It has fields for "Common name:" (containing "10.92.25.211") and "Validity:" (containing "9x5 days"). An arrow points to the "Common name" field with the text: "Common name (コモンネーム) と Validity (有効期間) を設定します。"
- Bottom Right:** "Configure Root Password using HTTPS" dialog box. It has fields for "User name:" (containing "root"), "Password:", and "Confirm password:". An arrow points to the "Password" field with the text: "管理者ユーザ用のパスワードを HTTPS を利用して設定します。"

- AMC (AXIS Media Control) をインストールする画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてインストールを行ってください。AMC のインストールを実行するには、インストールするコンピュータに管理者権限を持つユーザでログオンする必要があります。
- ビデオエンコーダの [Live View] ページが表示されます。

The image shows the "AXIS M7001 Video Encoder" web interface. At the top right, there are links for "Live View" and "Setup | Help". An arrow points to the "Setup | Help" link with the text: "設定ページを開く". Below the navigation bar, there is a "Stream profile" dropdown menu set to "Motion JPEG". The main area displays a live video feed of a jewelry store interior with people and display cases. At the bottom, there is a "Playing Motion JPEG" status bar with playback controls.

各種コネクタ

ネットワークコネクタ - 一般的な RJ-45 コネクタを利用してネットワークに接続し、PoE (Class 2) を利用して電力を受け取ります。シールド付きネットワークケーブル (STP) の使用をお勧めします。

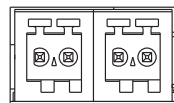
BNC コネクタ - 75 オーム同軸ビデオケーブルを利用してカメラを接続します。ケーブルの最大長は、250 メートル以内におさめてください。

注意： BNC T アダプタを利用してビデオソースを他の機器と並列に接続する場合は、75 オーム終端スイッチを OFF (左側) に設定して終端抵抗を無効に設定してください。設定が正しく行われていない場合、画質が損なわれることがあります。

2.5mm Tele plug コネクタ - AXIS M7001 COVERT SURVEILLANCE KIT に付属のコバート (小型) カメラを接続するためのコネクタです。

RS-422/RS-485 コネクタ - パン / チルト / ズームデバイスなどの機器をコントロールするための RS-485/422 インターフェイスです。RS-485/422 ポートは、以下のように設定することができます。

- 双方向 RS-485 半二重ポート (2 線)、RX/TX ペア 1 つを利用してデータ転送を行う。
- 双方向 RS-485 全二重ポート (4 線)、RX ペアと TX ペア 1 つずつを利用してデータ転送を行う。
- 単方向 RS-422 ポート (2 線)、RX- または TX ペアを利用してデータ送信と受信を行う。
- 双方向 RS-422 全二重ポート (4 線)、RX ペアと TX ペア 1 つずつを利用してデータ転送 (point-to-point) を行う。



TX RX/TX
1 2 3 4

機能	ピン	備考
RS 485/422TX (A)	1	RS-422 と RS-485 (4 線) の TX ペア
RS 485/422TX (B)	2	
RS-485A alt RS-485/422RX (A)	3	すべてのモード RX ペア (2 線 RS-485 用の RX/TX との組み見合わせ)
RS-485B alt RS-485/422RX (B)	4	

インディケータ

名称	色	説明
Network (NET)	緑色	100Mbps ネットワークに接続されています。緑色で点滅してネットワークアクティビティを示します。
	オレンジ色	10Mbps ネットワークに接続されています。オレンジ色で点滅してネットワークアクティビティを示します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
Status (STAT)	緑色	正常動作時に、緑色で点灯します。
	オレンジ色	ビデオエンコーダの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中にオレンジ色で点灯します。
	赤色	低速で赤色で点滅している場合は、ファームウェアのアップグレードが正しく行われていません。リカバリーを行ってください。(ユーザーズマニュアルの「トラブルシューティング」を参照)。
Power (PWR)	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。

注意： インディケータは常に消灯させることができます。[Setup] - [System Options] - [LED] で設定を行ってください。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

工場出荷時のデフォルト設定にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと、IP アドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. ネットワークケーブルを取り外して AXIS M7001 の電源を切ります。
2. コントロールボタン (位置は 3 ページを参照) を押しながらネットワークケーブルを接続してビデオエンコーダの電源を入れます。
3. Status (STAT) インディケータがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押し続けます (約 15 秒程かかります)。
4. コントロールボタンを放します。Status (STAT) インディケータが緑色で点灯し (1 分程かかる場合があります)、ビデオエンコーダが工場出荷時の状態にリセットされました。
5. IP アドレスの再設定を行ってください。

注意：

- ビデオエンコーダのデフォルトの IP アドレスは、192.168.0.90 に設定されています。
- コントロールボタンを利用してリセットを行うと、すべてのパラメータがリセットされます。[Setup] - [System Options] - [Maintenance] の Restore ボタンを利用すると、IP アドレスをリセットせずに他のパラメータだけを工場出荷時の状態に戻すことができます。詳しくは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

AXIS M7001 ユーザーズマニュアル

AXIS M7001 の詳しい設定方法については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

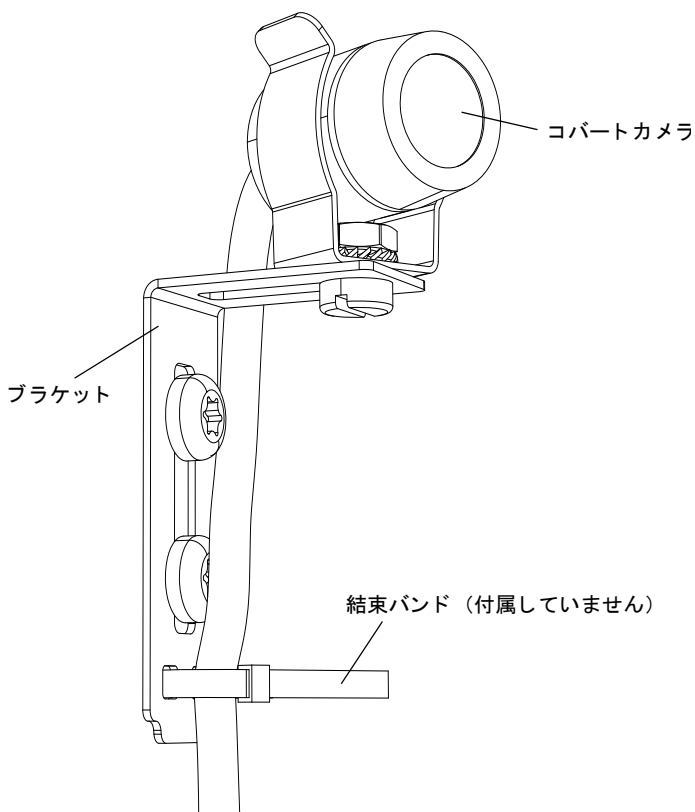
コバート（小型）カメラ

AXIS M7001 COVERT SURVEILLANCE KITにはAXIS M7001に接続可能なコバートカメラが同梱されています。コバートカメラの電力は、ビデオエンコーダから供給されます。

コバートカメラの取り付け

コバートカメラにはマウンティングキットが付属しています。以下の手順にしたがって、コバートカメラを壁または天井に取り付けてください。

1. 付属のネジおよびプラスチックプラグが、コバートカメラを取り付ける壁または天井に適しているか確認してください。
2. コバートカメラをブラケットに取り付けます。
3. ブラケットに取り付けたコバートカメラを壁にあてて、ブラケットの2箇所のネジ穴の位置に印を付けます
4. ネジ穴の印を付けた場所に穴を開けます。穴を開けたところにプラスチックプラグを差し込みます。壁に開けた穴と合うようにブラケットに取り付けたコバートカメラを壁にあてて、ネジを利用して壁に固定してください。



AXIS M7001 インストールガイド

第 1 版 (R1.0)
Part No.35268

© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2009

2009 年 4 月発行